

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成26年3月13日(2014.3.13)

【公開番号】特開2013-54403(P2013-54403A)

【公開日】平成25年3月21日(2013.3.21)

【年通号数】公開・登録公報2013-014

【出願番号】特願2011-190118(P2011-190118)

【国際特許分類】

G 06 F 13/00 (2006.01)

【F I】

G 06 F 13/00 6 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成26年1月29日(2014.1.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

利用者宛ての複数の電子メールの関連性を第1の記憶部に記憶し、

前記複数の電子メールを複数のフォルダに各々振分ける際の振分条件に基づき、1又は複数のフォルダに振分けられた前記複数の電子メールを第2の記憶部に記憶し、

前記利用者宛ての前記複数の電子メールのうち、該利用者が選択した第1のフォルダに振り分けられた1又は複数の電子メールについて、関連する1又は複数の電子メールを、前記第1の記憶部に基づいて特定し、

特定した前記1又は複数の電子メールが振分けられた第2のフォルダを前記第2の記憶部から取得して、該第2のフォルダの情報を、前記第1のフォルダに振分けられた1又は複数の電子メールの情報と共に前記利用者の端末に表示させる画面を作成する、処理をコンピュータに実行させるためのメールプログラム。

【請求項2】

前記第1のフォルダと前記第2のフォルダとは、異なるフォルダであることを特徴とする、請求項1に記載のメールプログラム。

【請求項3】

前記特定する処理において、前記第1のフォルダに振分けられた電子メールの中から前記利用者による電子メールの選択を受け付け、該選択を受け付けた電子メールよりも後に受信した前記1又は複数の電子メールであって、該選択を受け付けた電子メールに関連する電子メールを特定することを特徴とする請求項1又は2に記載のメールプログラム。

【請求項4】

前記画面に前記利用者宛ての電子メールを一覧表示する際、前記第2のフォルダを強調表示させることを特徴とする請求項1乃至3の何れか1項に記載のメールプログラム。

【請求項5】

前記画面に前記利用者宛ての電子メールを一覧表示する際、前記選択された電子メール及び閲覧すべき電子メールであることを通知するための情報の何れか又は両方を強調表示させることを特徴とする請求項1乃至4の何れか1項に記載のメールプログラム。

【請求項6】

前記電子メールの関連性として、前記複数の電子メールのそれぞれの送信者と宛先とを組みにし、前記送信者又は前記宛先の何れかが同一のメールを関連づけて、前記第1の記

憶部に記憶することを特徴とする請求項 1 乃至5の何れか 1 項に記載のメールプログラム。

【請求項 7】

利用者宛ての複数の電子メールの関連性を記憶する第 1 の記憶部と、
前記複数の電子メールを複数のフォルダに各々振分ける際の振分条件に基づき、 1 又は
複数のフォルダに振分けられた前記複数の電子メールを記憶する第 2 の記憶部と、
前記利用者宛ての前記複数の電子メールのうち、該利用者が選択した第 1 のフォルダに
振分けられた 1 又は複数の電子メールについて、関連する 1 又は複数の電子メールを、前
記第 1 の記憶部に基づいて特定し、

特定した前記 1 又は複数の電子メールが振分けられた第 2 のフォルダを前記第 2 の記憶
部から取得して、該第 2 のフォルダの情報を、前記第 1 のフォルダに振分けられた 1 又は
複数の電子メールの情報と共に前記利用者の端末に表示させる画面を作成する画面作成部
とを有することを特徴とするメール装置。

【請求項 8】

メール装置が、
利用者宛ての複数の電子メールの関連性を第 1 の記憶部に記憶し、
前記複数の電子メールを複数のフォルダに各々振分ける際の振分条件に基づき、 1 又は
複数のフォルダに振分けられた前記複数の電子メールを第 2 の記憶部に記憶し、
前記利用者宛ての前記複数の電子メールのうち、該利用者が選択した第 1 のフォルダに
振分けられた 1 又は複数の電子メールについて、関連する 1 又は複数の電子メールを、前
記第 1 の記憶部に基づいて特定し、

特定した前記 1 又は複数の電子メールが振分けられた第 2 のフォルダを前記第 2 の記憶
部から取得して、該第 2 のフォルダの情報を、前記第 1 のフォルダに振分けられた 1 又は
複数の電子メールの情報と共に前記利用者の端末に表示させる画面を作成する、処理を有
することを特徴とするメール表示方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 7】

開示の一態様におけるメールプログラムは、利用者宛ての複数の電子メールの関連性を
第 1 の記憶部に記憶し、前記複数の電子メールを複数のフォルダに各々振分ける際の振分
条件に基づき、 1 又は複数のフォルダに振分けられた前記複数の電子メールを第 2 の記憶
部に記憶し、前記利用者宛ての前記複数の電子メールのうち、該利用者が選択した第 1 の
フォルダに振り分けられた 1 又は複数の電子メールについて、関連する 1 又は複数の電子
メールを、前記第 1 の記憶部に基づいて特定し、特定した前記 1 又は複数の電子メールが
振分けられた第 2 のフォルダを前記第 2 の記憶部から取得して、該第 2 のフォルダの情報を
を、前記第 1 のフォルダに振分けられた 1 又は複数の電子メールの情報と共に前記利用者
の端末に表示させる画面を作成する、処理をコンピュータに実行させる。